

平成28年度

事業計画書



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

目 次

| | |
|-----------------|----|
| 公社経営方針 | 1 |
| 平成 28 年度事業計画の概要 | 2 |
| 定款事業別体系図 | 4 |
| 事業区分別事業計画 | 5 |
| 公社概要 | 13 |
| 組織図 | 13 |

公社経営方針

当公社は公益財団法人として、足立区民に文化、スポーツおよび学習活動の体験や機会を提供するとともに、人材の育成や自主活動を支援する事業を行うことで生涯学習を推進し、「生き生きとした地域社会の創造」に寄与することを目的としている。

公益財団法人となった平成21年度以降は、生涯学習施設の管理運営を所管業務から外し、職員の経験と実績に基づく指導力、調整能力を生かした事業に集約し展開している。

平成28年度の事業計画及び予算編成にあたっては、27年度に策定予定の「足立区生涯学習振興公社中期事業計画(以下中期事業計画)」に基づき、人材、財源等公社の持つ経営資源の効果的な活用により、重要課題に計画的に取り組んでいく。

足立区から受託する「放課後子ども教室支援」を引き続き中核事業とし、自主事業も強化することによりさらに充実させていく。また文化、スポーツ・学習活動にかかる事業では、地域で活動する人材の育成や、区内アーティストや関連施設との連携協力により、地域の力を一層活用し活力ある地域活動につなげていく。

事業の実施、予算執行にあたっては、より効率的で的確な運営を図ることにより、事業の実施効果を挙げ、区民へのサービス向上に努める。

重点事項

1 放課後子ども教室の運営支援及び拡充に重点的に取り組む。

平成28年度は、「足立区放課後子ども総合プラン(案)」並びに「中期事業計画」を踏まえ、より魅力的な活動の場へと発展を図る。校内学童保育室との連携、体験プログラムの充実などを重点課題として取り組む。

引き続き週5日開催の安定的な運営のための支援を行うとともに、地域や学校の実情を踏まえつつ実行委員会や学校と協議を進め、低学年の実施拡大等に取り組む。

2 区民に文化・学習・スポーツの豊かな体験機会を提供するとともに、人材育成を図る。

公社自主財源を効果的に投入し、文化面では、アウトリーチをキーワードとした地域中心型の文化事業を展開していく。

また、学習・スポーツ面では、地域学習活動人材育成を始めとする学習機会を提供する。ここで、育成された人材を放課後子ども教室などの場で活用を図っていく。

3 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

平成28年度 事業計画の概要

平成28年度は、引き続き足立区からの受託事業を主な事業としつつ、公社の自主財源である運用益を利用し、生涯学習にかかる人材の育成と活用に取り組む。放課後子ども教室、生涯学習・スポーツ、文化事業については、平成28年度からの5年間の「中期事業計画」に基づき、堅実かつ計画的な事業を進める。さらに平成27年度末に策定の「足立区放課後子ども総合プラン（案）」を踏まえて、体験活動の充実等にも計画的に取り組んでいく。

また、平成27年度まで受託していた放送大学関連の2事業は、大学と協議した結果、大学総務事務と図書室・視聴学習室の開放業務を、大学が直接実施することで合意できたので、平成28年度から廃止となった。

重点事項に基づく主要事業の概要は以下のとおりである。なお、定款別の事業区分別事業計画は、5ページ以降に掲載する。

1 あだち放課後子ども教室の運営支援 【生涯学習の機会提供に関する事業、足立区から受託する生涯学習に関する事業】

放課後子ども教室は22年度に全校実施となり、現在、週5日実施がほぼ達成され、安定運営が続いている。一方で、低学年未実施校も12校（27年度末）あり、全学年での実施が課題となっている。28年度は実施校60校を目標に取り組んでいく。

(1) 体験プログラムの導入と実施に向けた支援

「足立区放課後子ども総合プラン（案）」を踏まえ、校内学童保育室と放課後子ども教室との連携及び体験プログラムの充実に向けて、公社の人材育成事業による人材活用、NPO団体等との連携、さらに各学校の実行委員会へのプログラム導入と実施に向けた支援や提案を行っていく。

(2) 運営の効率化と平準化

日常の運営支援では、これまでの定期的な巡回による課題の早期解決、事故やトラブル時の報告、個人情報管理の徹底を行う。さらに「放課後子ども教室運営マニュアル」を基に、具体的な運営方法や標準的な実施のあり方を示し、運営の一層の効率化と全校の平準化を進めていく。

また、事業の周知については、広報紙「ときめき」に、活動を紹介する記事及び人材募集記事を掲載する。加えて、就学児の保護者に放課後子ども教室の趣旨や活動内容への理解を深める目的で「放課後子ども教室利用案内＝あだち放課後子ども教室に行こう＝」を、学校公開や入学説明会に合わせて配布を行う。

(3) 研修の実施

さらに、安全管理員に向けて、夏休みまでに安全管理講習会を実施し、全スタッフで緊急時の手順や事故発生時の連携を確認する。また、専門研修として、見守り活動に役立つテーマを取り上げてコース別に実施する。

2 生涯学習・スポーツ事業 【生涯学習の機会提供に関する事業、生涯学習の人材育成に関する事業、生涯学習の活動支援に関する事業、足立区から受託する生涯学習に関する事業】

生涯学習・スポーツ事業は、地域活動を行う人材を育成し活用する事業を主軸とし、それぞれの活動に関わる知識や技術習得の講座を実施していく。

人材育成・活用事業として、「こどもサポーター養成事業」と「体力向上人材育成事業」を展開し、活動に直結する実践的な学習と、活動継続化への支援としてのフォロー講座を行っていく。学んだ成果を地域で活かすしくみや、スキルアップの機会提供を通して、子どもから高齢者まで、区民の学習・スポーツ体験機会が拡充していくことを目指していく。

また、子どもを取り巻く現代的な課題や、発達段階の特性などを学ぶ「子ども学講座」や、運動・スポーツ活動の啓発を目的とした「あだちウェルネスカレッジ」などの事業では、身近に感じるテーマを通して区民の学習意欲の啓発を図っていく。

加えて、スポーツ関連事業においては、スポーツ実践者・指導者向けの講座を通じて、区民のスポーツ活動の促進を図りつつ、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成の一助を担っていく。

3 文化事業 【生涯学習の機会提供事業に関する事業、生涯学習の人材育成に関する事業、足立区から受託する生涯学習に関する事業】

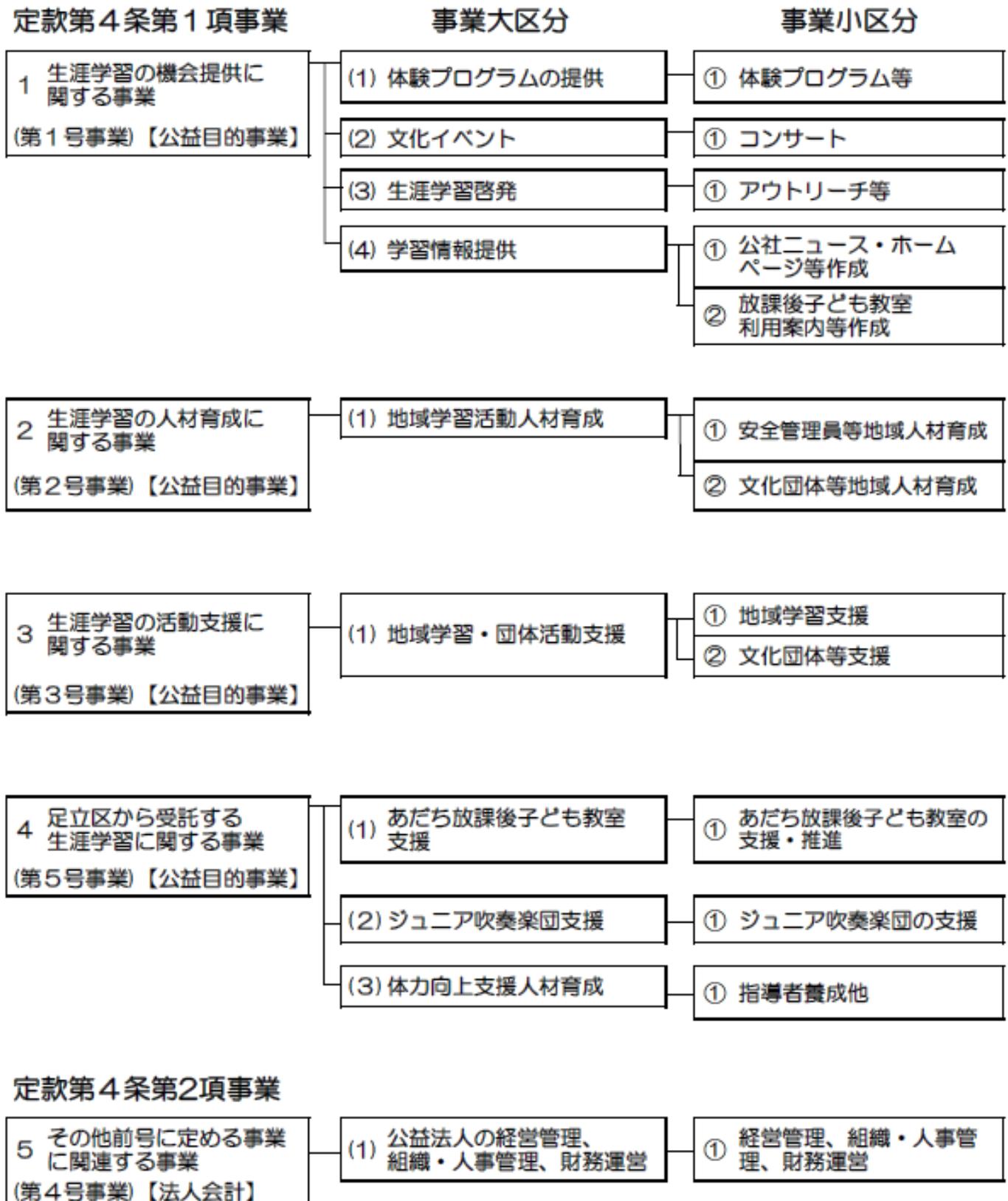
生涯学習の機会提供では、足立区にゆかりのあるアーティストを起用した一般区民向けのコンサートの実施や、小学校に訪問して演奏等を行うアウトリーチ事業を通して、多くの区民が身近に文化芸術に触れる機会を提供する。

人材育成に関する事業では、区内で活動する人材を側面からサポートするアウトリーチスキルを習得するための講座や、文化芸術にかかわるアーティスト同士の相互交流を通して、新たな区民文化の創出を目指す。

また、活動支援に関する事業では、地域で活動する各団体との共催事業を実施して、足立区の文化振興の促進と支援を行う。また、文化団体の自主的な運営や、区民によるイベント実施に関する相談、助言などの活動支援を行う。

足立ジュニア吹奏楽団の運営・支援事業では、音楽を愛好する情操豊かな児童の育成を図る。楽団の存在を広くアピールするため、地域への派遣演奏や、各イベント等への出演など、演奏活動の支援を行う。また、団員の保護者で組織する「友の会」の安定運営について助言、支援を行い、今後の自主的で持続可能な組織体制を目指す。

平成28年度 定款事業別体系図



事業区分別事業計画

1 生涯学習の機会提供に関する事業

(定款第4条第1項第1号事業)【公益目的事業】

| | | | |
|---|---|----------|--------|
| (1) 体験プログラムの提供 | | 当初予算額 | |
| | | 2,640 千円 | |
| 目的及び概要 | <p>公社事業で発掘・育成した地域人材を活用し、子どもや親子への体験プログラムを提供する。毎年開催している「あだちこどもサポーター養成講座」の修了生を実践者として、読み語りキャラバンや、放課後子ども教室での「キッズおりがみ教室」を展開する。</p> <p>さらに「足立区放課後子ども総合プラン*」に基づき、放課後子ども教室体験プログラムの充実を図るため、協力団体や企業との連携、公社企画のプログラムなどを実施する。</p> | | |
| 28年度の予定 | | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数・校 | 実施場所 |
| 【1】読み語りキャラバンによるお話し会 | 6～2月 | 5回 | 地域図書館等 |
| 【2】地域人材活用による放課後体験プログラム (おりがみ、読書支援サポーター等) | 通年 | 20校 | 区内各小学校 |
| 【3】団体連携による放課後体験プログラム (企業、NPO法人等) | 通年 | 20校 | 区内各小学校 |
| 【4】公社企画による放課後体験プログラム (なわとび記録会、読書貯金通帳等) | 通年 | 随時 | 区内各小学校 |

*足立区放課後子ども総合プラン：文部科学省と厚生労働省が平成26年度に発表した「放課後子ども総合プラン」を受け、区が27年度に策定予定。放課後子ども教室および学童保育事業の計画的な整備等を進めることとしており、放課後子ども教室については、全学年実施と開催日数の拡大、校内および隣接する学童保育室との連携、体験プログラムの充実などを旨とする事業計画。

| | | | | |
|------------|---|---------|------|---|
| (2) 文化イベント | | 当初予算額 | | |
| | | 1,729千円 | | |
| 目的及び概要 | <p>多くの区民が、文化芸術によって、地域に愛着心や誇りを持ち、文化芸術の薫り高い地域社会の実現のために、文化イベントを提供する。</p> <p>「マイタウンコンサート」は、区民にとって身近な施設で、区内にゆかりのあるアーティストを起用したコンサートを実施する。地元アーティストの地域での活躍の場を創出すると共に、区民の地域への愛着心の向上を図る。会場は北千住駅構内などを計画している。</p> <p>「ドンドコ♪フェスティバル」は、都市農業公園との共催により、収穫祭に合わせた地域の新たな「祭り」として定着をはかる。打楽器の即興演奏を中心としたドラムサークル*という手法を用いて、参加者相互の世代を超えた交流を図る。</p> <p>「コンサートinミュージアム」は、区内4つの民間文化施設がネットワークを組み、コンサートなどの事業を実施する。各施設相互の連携と、質の高い地域文化資源を定着させる。</p> | | | |
| | 28年度の予定 | | | |
| | 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| | 【1】マイタウンコンサート | 上半期 | 1回 | 区内 |
| | 【2】ドンドコ♪フェスティバル | 11月 | 1回 | 都市農業公園 |
| | 【3】コンサートinミュージアム | 通年 | 4回 | 区内民間文化施設 六町ミュージアム ・フローラ 昭和の家 わたなべ音楽堂 石洞美術館 |

*ドラムサークル：打楽器による参加型即興演奏

| | | | | |
|------------|---|----------|--------------|-------------|
| (3) 生涯学習啓発 | | 当初予算額 | | |
| | | 1,632 千円 | | |
| 目的及び概要 | <p>文化芸術に触れる機会の少ない区民に向けて、アウトリーチ等の手法によって身近な地域で事業を展開する。</p> <p>「小学校アウトリーチコンサート*1」は、区内小学校の低学年を対象に、プロの演奏家を起用して、本物の芸術を間近で体験させる。音楽の素晴らしさ、楽しさを通じて感性を養い、子どもたちの将来の可能性へとつながる機会を提供する。</p> <p>SPC(スチューデントプロデュースコンサート*2)オリジナルソング「このまち」が区内で広く親しまれ、愛唱されるよう周知を図る。公社ニュースときめきに、楽譜・CD についての記事を掲載する。</p> | | | |
| | 28 年度の予定 | | | |
| | 内 容 | 実施時期 | 実施回数・校 | 実施場所 |
| | 【1】 小学校アウトリーチコンサート 【2】 SPC オリジナルソング 「このまち」周知事業 | 9～3月 | 14回・7校 1回 | 区内小学校 区内 |

*1 アウトリーチ：地域へ出張して行う芸術普及活動

*2 SPC（スチューデントプロデュースコンサート）：一般の公募で集まった区内在住・在学の校・大学生が約 10 ヶ月かけて、プロの演奏家が出演するコンサートを作り上げた企画

| | | | | |
|------------|---|-------------------------|---------------|---|
| (4) 学習情報提供 | | 当初予算額 | | |
| | | 9,141 千円 | | |
| 目的及び概要 | <p>生涯学習の推進を図るために、公社の概要や事業案内を、区民に情報発信する。</p> <p>公社ニュース「ときめき」では、公社事業や「あだち放課後子ども教室」関連情報等を発信する。「公社ホームページ」では、公社概要や事業案内などの情報を提供し、公社を広くPRする。放課後子ども教室の事業内容を幅広く周知するため、「あだち放課後子ども教室利用案内＝あだち放課後子ども教室へ行こう＝」を作成し、秋の学校公開及び就学時健診、また、翌年春の新入学児説明会で保護者等に配布する。</p> | | | |
| | 28 年度の予定 | | | |
| | 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| | 【1】 公社ニュース「ときめき」への自主事業等 情報発信 【2】 公社ホームページによる情報提供事業 【3】 「あだち放課後子ども教室利用案内＝あだち放課後子ども教室へ行こう＝」の配布 | 毎月1日 通年 10、3月 | 12回 2回 | 区内全戸配布他 (310,000部) 就学予定児童の保護者等 (15,000部) |

2 生涯学習の人材育成に関する事業

(定款第4条第1項第2号事業)【公益目的事業】

| | | |
|----------------------------------|---|---------|
| (1) 地域学習活動人材育成 | | 当初予算額 |
| ①安全管理スタッフ等地域人材育成 ②文化団体等地域人材育成 | | 1,405千円 |
| 目的 | 「あだち放課後子ども教室」や地域における子どもたちの体験交流活動を推進するために、地域学習活動にかかわる「人材」を発掘・育成し、活用する。また、文化面においても、地域の演奏家のアウトリーチ技術向上を図るとともに、区内のアーティスト等が交流することによる新たな区民文化の創出と、地域の文化芸術の振興および向上を図る。 | |

| | | | |
|--|---|-------|-----------|
| ①安全管理員等地域人材育成 | | 当初予算額 | |
| | | 830千円 | |
| 概要 | <p>「安全管理員研修会」は、安全管理員が日々の見守り業務の参考となる児童心理や発育発達についての講義、また、放課後子ども教室で体験プログラムを実施する上で参考となる事例の紹介、さらに危機管理に関する情報提供等をテーマとしてコース別に実施し、必要な専門的知識と技術の習得を図る。</p> <p>また、子どもたちの体験・交流活動に関わる地域人材を育成・活用する「あだちこどもサポーター養成事業」を展開するとともに、スキルアップ講座や情報交換等の機会を通じ、活動の支援を行っていく。</p> | | |
| 28年度の予定 | | | |
| 内容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| 【1】安全管理員研修会(3コース) (児童心理・体力向上、放課後子ども教室体験プログラム事例・危機管理情報等) | 7~10月 | 7回 | 生涯学習センター他 |
| 【2】あだちこどもサポーター養成講座 (読み語り、おりがみ、遊びなど) | 5~10月 | 4回 | 生涯学習センター |
| 【3】あだちこどもサポータースキルアップ講座(技術向上) | 6、11月 | 2回 | 生涯学習センター |
| 【4】あだちこどもサポーターフォロー講座(活動啓発) | 11~2月 | 2回 | 生涯学習センター |
| 【5】あだちこどもサポーター活動支援 (活動調整) | 通年 | 168回 | 区内小学校 |
| 【6】あだちこどもサポーターネットワーク支援(情報交換) | 不定期 | 5回 | 生涯学習センター他 |

| | | | |
|---------------------|--|--------|-----------|
| ②文化団体等地域人材育成 | | 当初予算額 | |
| | | 575千円 | |
| 概要 | <p>「演奏家のためのアウトリーチ講座」は、プロもしくはプロを目指している演奏家を対象に、アウトリーチの技術向上と文化芸術の人材育成を図るために開催する。</p> <p>「あだちアートリンクカフェ*」は、主として足立区でアートに関わる方を対象に、様々な立場や役割を超えた相互の情報交換と交流により、新しい区民文化の創出を目指す。</p> <p>「あだちアートリンクカフェ・公開講座」については、区内の文化芸術に興味のある方たちが参加できるよう一般公開として実施する。区民の文化芸術に関する意識の向上と相互交流の場とする。</p> | | |
| 28年度の予定 | | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| 【1】演奏家のためのアウトリーチ講座 | 2月 | 1回・2日間 | 区内 |
| 【2】あだちアートリンクカフェ | 通年 | 6回 | 東京芸術センター他 |
| 【3】あだちアートリンクカフェ公開講座 | 通年 | 2回 | 区内 |

*リンク：つながり

3 生涯学習の活動支援に関する事業

(定款第4条第1項第3号事業)【公益目的事業】

| | | |
|---------------------|---|-------|
| (1) 地域学習・団体活動支援 | | 当初予算額 |
| ①地域学習支援 ②文化団体等支援 | | 629千円 |
| 目的 | 区民が地域課題や現代的課題について、主体的に考え、学びあう機会を創出し、学習活動の充実と支援を図る。また、自主的な文化活動を行う区民や地域の芸術家および団体と演奏会等を共催し、地域の文化振興に寄与する。 | |

| | | | |
|---------------------|---|-------|----------|
| ①地域学習支援 | | 当初予算額 | |
| | | 305千円 | |
| 概要 | 区民が健康づくり活動や地域活動に活かせる学びの機会を提供する。講座の企画段階から、専門性に優れた各種機関や区内大学と連携を取り、学習のテーマ設定や講師選定など学習内容の充実を図り、区民の学習活動を支援していく。 | | |
| 28年度の予定 | | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | |
| 実施場所 | | | |
| 【1】健康づくり・スポーツ活動支援講座 | 7～2月 | 2回 | 生涯学習センター |
| 【2】地域活動支援講座 | 8～12月 | 2回 | 生涯学習センター |
| 【3】地域学習コーディネート事業 | 通年 | 随時 | 区内各所 |

| | | | |
|-----------------------|---|-------|-----------|
| ②文化団体等支援 | | 当初予算額 | |
| | | 324千円 | |
| 概要 | <p>足立ジュニア吹奏楽団の演奏活動を支援するため、地域からの出張演奏依頼に伴う楽器運搬費を支出する。</p> <p>「歓喜の演」「足立区音楽祭」「ブリランテコンサート」「足立吹奏楽団定期演奏会」については、区の文化振興のため、各団体からの申請により公社共催事業とし、支援、助言等を行う。</p> <p>「イベントコーディネート」は、区、民間、地域からの企画相談に対応する窓口を設置し、地域の文化事業について助言、提案等の支援を行う。</p> | | |
| 28年度の予定 | | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | |
| 実施場所 | | | |
| 【1】足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援事業 | 通年 | 2回 | 区内 |
| 【2】歓喜の演（狂言、合唱） | 通年 | 2回 | 西新井文化ホール他 |
| 【3】足立区音楽祭 | 9月 | 1回 | 西新井文化ホール他 |
| 【4】ブリランテコンサート | 7、12月 | 2回 | 西新井文化ホール他 |
| 【5】足立吹奏楽団定期演奏会 | 6、2月 | 2回 | 西新井文化ホール他 |
| 【6】イベントコーディネート | 通年 | 随時 | 区内各所 |

4 足立区から受託する生涯学習に関する事業
 (定款第4条第1項第5号事業)【公益目的事業】

| | | | | |
|-------------------|---|------------|--------|-----------|
| (1) あだち放課後子ども教室支援 | | 当初予算額 | | |
| | | 223,543 千円 | | |
| 目的及び概要 | <p>区から受託する「あだち放課後子ども教室事業」において、放課後の児童の安全で安心な居場所を提供するため、運営の平準化と活動環境の整備を進め、さらなる安定運営の継続に努める。また、「足立区放課後子ども総合プラン(案)」に基づき、実行委員会が実施する体験プログラムを支援し、活動に繋がる企画・提案、及び協力団体の紹介等を行い、各校の活動の充実を図る。</p> <p>「安全管理講習会」は、安全管理員が、日々の見守り業務の中で発生する事故や怪我の対応に必要な応急手当や、熱中症及び感染症などの知識や対策を学ぶため、夏休み前までに全校で実施する。</p> <p>「運営委員会」は、放課後子ども教室における体験プログラムの導入および活動の意義、その他運営に関する報告の場として実施する。</p> <p>「ブロック会議」は、各校から活動報告を聞き、運営上の課題や成果を話し合うとともに、体験プログラムへの取り組み等、今後の教室運営に向けた意見交換を行う。</p> | | | |
| 28年度の予定 | | | | |
| | 内 容 | 実施時期 | 実施回数・校 | 実施場所 |
| | 【1】あだち放課後子ども教室の支援 | 通年 | 随時 | 区内各小学校 |
| | 【2】安全管理講習会(応急手当実技) | 4~7月 | 69校 | 区内各小学校 |
| | 【3】新任安全管理講習会(応急手当実技) | 9~3月 | 3回 | 生涯学習センター他 |
| | 【4】運営委員会の支援 | 1月 | 1回 | 生涯学習センター |
| | 【5】ブロック会議の支援 | 11月 | 13回 | 区内各小学校他 |

| | | | | |
|----------------|--|----------|------|--|
| (2) ジュニア吹奏楽団支援 | | 当初予算額 | | |
| | | 4,520 千円 | | |
| 目的及び概要 | <p>区から委託を受け、音楽を愛好する情操豊かな児童を育成する「ジュニア吹奏楽団」の支援事業を実施する。</p> <p>公社は、所管する区の方針に則り、区内4~6年生の希望者を対象に週2回の練習を行い、定期演奏会をはじめ、区内の各イベント等への出演を調整し、演奏活動の支援を行うとともに、団員保護者による「友の会」の運営支援も行う。</p> | | | |
| 28年度の予定 | | | | |
| | 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| | 【1】楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進 指導者謝礼補助 楽器消耗品購入 通信運搬費補助 | 通年 | — | 練習(島根小) 定期演奏会(区内) その他区内外での 派遣演奏会場 |

| | | | |
|--|---|--------|----------|
| (3) 体力向上支援人材育成 | | 当初予算額 | |
| | | 334 千円 | |
| 目的及び概要 | <p>区から委託を受け、楽しく体を動かしながらスムーズな動きを身に付ける「運動遊び」に着目し、その効果についての理解を深め、区民の体力向上・運動機能向上プログラムを展開できるスポーツ指導者の育成を図る。</p> <p>地域スポーツ指導者や保育・学校体育に携わる区民や、高齢者の活動支援に関わる方を対象に、コーディネーショントレーニングの理論を踏まえた、「運動あそび」の実践と効果を学び、現場指導に活かすための講習会を実施する。</p> | | |
| 28 年度の予定 | | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| 【1】指導者講習会(幼児・小学生対象) 運動あそびと体力向上トレーニング | 6月・12月 | 2回 | 生涯学習センター |
| 【2】指導者スキルアップ講習会(高齢者対象) 運動機能向上のためのトレーニング | 4月・11月 | 2回 | 生涯学習センター |

【1～4 公益目的事業に対する人件費】

| | | | |
|---------------------|--|------------|------|
| 公益目的事業に対する人件費 | | 当初予算額 | |
| | | 257,111 千円 | |
| 目的及び概要 | <p>定款第4条第1項事業である「公益目的事業(放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業を除く)」を実施する職員の人件費。</p> | | |
| 28 年度の予定 | | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| 【1】公益目的事業に従事する職員人件費 | 通年 | — | — |

5 その他前号に定める事業に関連する事業

(定款第4条第2項第4号事業)【法人会計】

| | | | |
|--|--|-----------|-------|
| (1) 公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営 | | 当初予算額 | |
| | | 57,074 千円 | |
| 目的及び概要 | <p>公益財団法人足立区生涯学習振興公社を運営するために、公益法人として不可欠な理事会や評議員会の開催及び庶務事務を行う。また、自主事業を安定して継続するために、基本財産等の安全確実な資産運用を行う。</p> | | |
| 28 年度の予定 | | | |
| 内 容 | 実施時期 | 実施回数 | 実施場所 |
| 【1】公益財団法人の管理・運営補助事業 経理・契約・給与事務の執行 基本財産等の管理及び運用 理事会及び評議員会の開催 | 通年 通年 5、11、2月 | — | 公社事務局 |

公 社 概 要

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

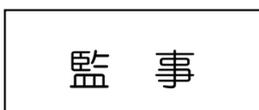
| | |
|----------------|---|
| 設 立 | 平成5年2月1日（平成12年4月1日名称変更） |
| 公益認定 | 平成21年10月1日公益財団法人 |
| 基本財産 | 15億円 |
| 代表者 | 理事長 亀村 精一 |
| 職員数 | 44名（定数） 常勤30名（派遣7名、固有23名） 非常勤14名 |
| 住 所 | 〒120-0034 東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21 |
| ホームページ アドレス | http://www.kousya.jp/tokimeki/ |

組 織 図

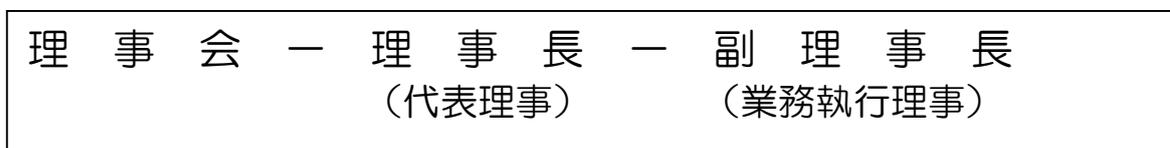
（決 議 機 関）



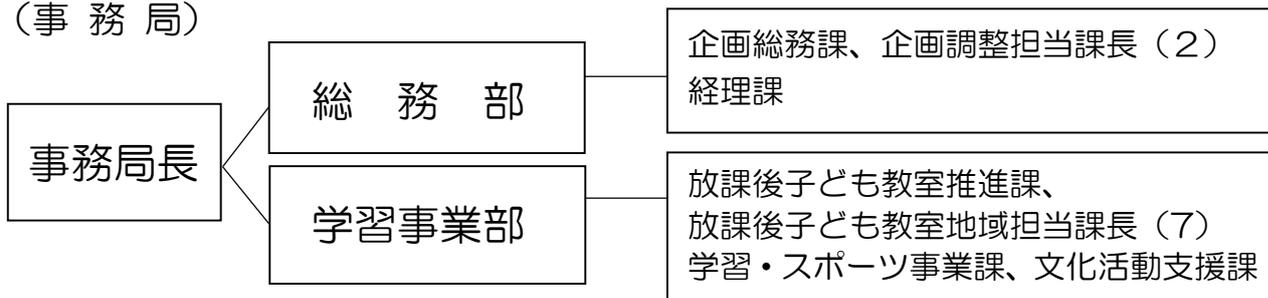
（監 査 機 関）



（執 行 機 関）



（事 務 局）



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

平成 28 年度 事業計画書

作成 公益財団法人足立区生涯学習振興公社

総務部 電話 03-5813-3724